

新型コロナウイルスと共生するやり方や
仕組みをどう創っていくかを考えるための事例集

2020.06.08



ideaship

株式会社アイディアシップ

はじめに

ワクチンや有効な治療薬が確立されていない現在、新型コロナウイルス感染症との付き合いは長い期間に及ぶことが予想されています。

そうしたなかで世の中は、生活や働き方、教育のあり方を大きく変え、新型コロナウイルスと共生していく社会「ウィズ（with）コロナ」という考え方にシフトしてきています。

新しい生活様式

新型コロナウイルス感染症は無症状や軽症であっても、他の人に感染を広げる例があるため、新型コロナウイルス感染症の対策には、自らを感染から守ることだけではなく、周囲に感染を広げないことが大切になってきます。

そのためには一人一人の心がけが重要であり、感染拡大を予防する「新しい生活様式」へ移行していく必要があるとして、国の専門家会議より具体的な実践事例が示されました。

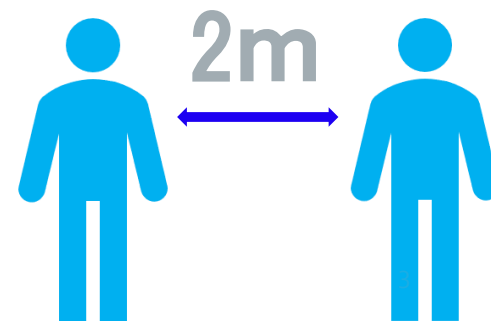
【一人一人の基本的な感染対策】

- ☑ 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）空ける
- ☑ 遊びに行くなら屋内より屋外へ
- ☑ 会話の際は真正面を避けて
- ☑ 症状が無くてもマスク着用
- ☑ 家に帰ったらまず手や顔を洗う
- ☑ 手洗いは水と石けんで30秒はかけて丁寧に



※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする

- ☑ 感染流行地域からの移動・感染流行地域への移動は控える
- ☑ 帰省や旅行は控えめに（出張はやむを得ない場合に）
- ☑ 発症した時のため、誰とどこで会ったかをメモにする
- ☑ 地域の感染状況に注意する



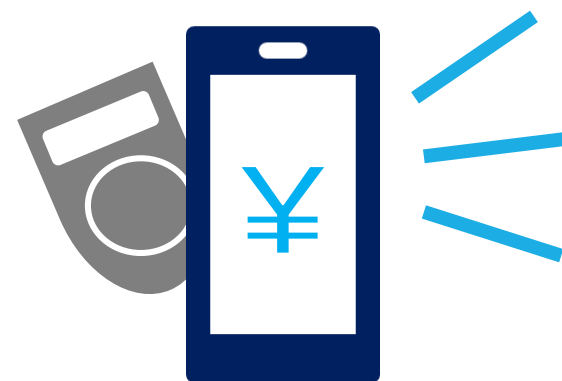
【日常生活において】

- ☑ まめに手洗い・手指消毒
- ☑ 咳エチケットの徹底
- ☑ こまめな換気
- ☑ 身体的距離の確保
- ☑ 三密の回避（密集・密接・密閉）
- ☑ 毎朝の体温測定・健康チェック



【買い物において】

- ☑ 通販も利用
- ☑ 1人または少人数ですいた時間に
- ☑ 電子決済の利用
- ☑ 計画を立てて素早く済ます
- ☑ サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ☑ レジに並ぶときは、前後にスペースを

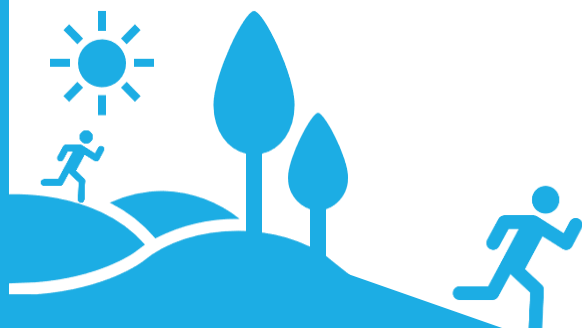


【娯楽・スポーツなどにおいて】

- ☑ 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ☑ 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ☑ ジョギングは少人数で
- ☑ すれ違う時は距離をとるマナー
- ☑ 予約制を利用してゆったりと
- ☑ 狭い部屋での長居は無用
- ☑ 歌や応援は、十分な距離かオンライン

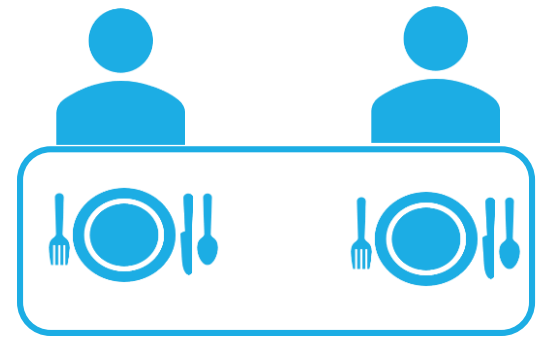
【冠婚葬祭などの親族行事において】

- ☑ 大人数での会食を避けて
- ☑ 発熱や風邪の症状のある場合は参加しない



【食事において】

- ☑ 持ち帰りや出前、デリバリーを利用
- ☑ 屋外空間で気持ちよく
- ☑ 大皿は避けて、料理は個々に
- ☑ 対面ではなく横並びで座ろう
- ☑ 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ☑ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて



【公共交通機関の利用において】

- ☑ 会話は控えめに
- ☑ 混んでいる時間帯は避けて
- ☑ 徒歩や自転車利用も併用する



【職場において】

- ☑ 1時間に2回程度、窓を全開に
- ☑ 在宅勤務やテレワークを推進
- ☑ 時差通勤や自転車通勤などの活用
- ☑ 会議では人と人との間隔を2m空け、真正面を避ける
- ☑ 電話やパソコンの複数人での共用を避ける

<参考>

新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

事例集

上記の「新しい生活様式」の他にも、様々な場面において、新型コロナウイルスへの対応が必要になることがまだまだあるかもしれません。
色々な分野でみなさんが工夫されて、取り組んでいる事例を集めてみました。

withコロナ時代の結婚式宣言！

結婚式場を決めたい新郎新婦を応援、各社が枠組みを超えて協力

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、結婚式を延期する新郎新婦が増えているといます。結婚式のキャンセル料や延期料が新郎新婦の負担となりますが、臨機応変に柔軟な対応をする式場も出てきています。しかし式場ごとに対応は異なる状況。

そんな中、式場探しサービス事業を行っている株式会社リクシィ（東京都中央区）が、新郎新婦が安心して式場探しができるように、全国の会場と枠組みを超えて協力し、「withコロナ時代の結婚式宣言！」を出しました。賛同するのは28社125の式場。2020年4-5月の成約者を対象に以下の3つの取り組みを行います。

- ✓ 式場見学前のオンライン面談
見学前にオンライン面談で情報収集、見学時間は必要最低限に。
- ✓ 特別条件による契約
新型コロナの未収束を理由とする日程変更は、「実費負担のみ」または「キャンセル相当額を全て挙式実施時に充当」にて対応。
- ✓ 準備
結婚式の打合せをオンライン面談中心に進め、リスクを抑制。
(試着・試食等)

<参考>

「withコロナ時代の結婚式宣言」に全国28社125式場が賛同～垣根を越え、新郎新婦を応援すべく各社が協力！～ <https://note.com/rexitinc/n/nd8594b6045a3>
株式会社リクシィ <https://rexit.co.jp/>

マレーシアで「ドライブスルー結婚式」

マレーシアのウェディング会社・ディナスブライダルが、ドライブスルー方式で結婚式を行った新郎と新婦の写真をフェイスブックに掲載すると、インターネット上でたちまち大きな話題となりました。

写真の新郎新婦は、婚礼衣装に身を包み、幸せそうに見つめあいながら道端の椅子に座っています。招待客の乗る車が近付くと、二人は胸に手を置いて挨拶を交わし、招待客が車に乗ったまま祝儀箱にご祝儀の封筒を入れると、新郎新婦は包装された食べ物の包みを車の中の招待客に手渡します。

ウェディングプランナーによると「新郎新婦が結婚を祝ってくれる来客たちが新型コロナウイルスに感染することを憂慮し、屋外で接触を最小化できる方式で結婚式を行った」と説明しました。

インターネット上では「このような特別な結婚式は時間が過ぎても特別に思い出されるだろう」「式場の利用料など結婚式予算も節約した立派な結婚式」と好評とのことでした。

<参考>

“ドライブスルー結婚式”まで登場。新型コロナ感染防止の対策となるか
<https://news.livedoor.com/article/detail/17989196/>

ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた 「ソーシャル・ディスタンス・オフィス」を開設

宮崎発のサイバーセキュリティ企業・株式会社クラフ（宮崎県宮崎市）は、2020年秋に、ウィズコロナ、ポストコロナ時代を見据えた「ソーシャル・ディスタンス・オフィス」を開設することを決定しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、働き方も大きく変わりつつあります。そんな中で、柔軟な働き方に適応する新しいオフィススタンダードを、株式会社クラフが提案します。

感染リスクが高まった非常時には、以下のように、従業員のソーシャルディスタンスを保つ事が可能なオフィスに変更できる仕様に、あらかじめ設計するとしています。

- ✓感染リスクに有効とされるフォーカスブース型のデスクを導入
- ✓1デスク空けて利用すれば、隣席と180cmとなる距離を確保
- ✓距離を視覚化するためのカーペットによるゾーニングを行う
- ✓入室→業務→退出を一方通行で可能にするレイアウト

<参考>

2020年秋に「Afterコロナ時代」を見据えた「ソーシャル・ディスタンス・オフィス」を、宮崎発サイバーセキュリティ企業・株式会社クラフが開設。

<https://www.sankei.com/economy/news/200518/prl2005180380-n1.html>

株式会社クラフ

<https://kraf.jp/>

仮想空間からカルチャー発信の「バーチャル渋谷」 ウィズコロナ時代に向けたアーティスト支援

KDDI株式会社、一般社団法人渋谷未来デザイン、一般財団法人渋谷区観光協会を中心とする参画企業50社で構成される「渋谷5Gエンターテイメントプロジェクト」は19日、東京都渋谷区のスクランブル交差点周辺を仮想空間で再現する、渋谷区公認の配信プラットフォーム「バーチャル渋谷」を、オンラインサービスのcluster（クラスター）で開始しました。

「バーチャル渋谷」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、経済や文化などさまざまな活動が制限される中、渋谷の街並みを再現した仮想空間を、アバターを使って自由に動き回りながら、自宅でアートやカルチャーに触れることを可能にします。

今後もリアルな渋谷同様のトークショーやライブ、アート展示などのオンラインイベントを開催し、時間や場所などの制約を超えたエンターテインメントを提供していくとのこと。

<参考>

au×「バーチャル渋谷」が稼働、”ウィズコロナ”時代に向けたアーティスト支援

<https://news.yahoo.co.jp/articles/33ffd5f09f5e2bd437fb343eb7bb2ccf37c568e8>

渋谷5Gエンターテイメントプロジェクト

<https://shibuya5g.org/>

ソーシャルディスタンス確保 「ドライブイン方式」音楽フェス・ライブ

新型コロナウイルスの影響で、世界中で音楽イベントが延期や中止を余儀なくされています。そんな中、ドイツ・デュッセルドルフで音楽フェス「Big City Beats World Club Dome」がドライブイン方式で開催されました。

会場はAutokino Düsseldorf 地区の駐車場。車がステージ方向に向かってズラリと駐車され、車と車の間もスペースを空けて駐車するので、ソーシャルディスタンスを完全にキープすることができます。

観客たちは車中でも一緒に盛り上がるために、DJやMCの呼びかけに合わせて一斉にクラクションを鳴らしたり、暗闇の中、車のハザードランプをペンライト代わりに点滅させます。

DJのパフォーマンスだけではなく、実際のフェス同様にステージでは炎が出現したり、花火も打ち上げられ、会場一体となり盛り上がりを見せたということです。

また、デンマークでもシンガーソングライターのマッズ・ランガー氏が同様のライブを開催、500枚のチケットはすぐに完売したといます。演奏はFMラジオを通じて車内に届けられ、Zoomを活用して参加者との交流も。今後しばらくは、世界中でドライブインフェスが増えていくであろうと予想されています。

<参考>

ドライブイン式の音楽ライブがヨーロッパで開催。車間距離を保って、車に乗ったまま参加
https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5ead0a3cc5b639d6e57686d6

公演再開に向け試行錯誤のオーケストラ団体 ソーシャルディスタンスを検証

オーストリアの名門であるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が、6月の頭に約3か月ぶりとなる公演を再開しました。新型コロナウイルスの新規感染者が減少していること、観客数を制限し座席の距離も空け、政府の感染予防対策を徹底したうえでの再開でしたが、市民からは喜びや歓迎の声が相次いだといえます。

しかし日本では緊急事態宣言が全国で解除されたあとも、すぐには公演を再開できず、国内のオーケストラ団体は苦境に立たされています。有識者による「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」が策定されたとはいえ、公演再開に向けまだ模索は続いているようです。

そんな中、今月末に定期演奏会の再開を目指すことになっている、関西フィルハーモニー管弦楽団が、ステージ上での「ソーシャルディスタンス」を意識した楽器配置などを検証する目的で、リハーサルを行いました。その結果、弦楽器は前後左右に1.5メートル。管楽器は2メートルの距離をそれぞれ確保すれば、30人ほどがステージにあがることができ、弦楽器の配置を工夫することで違和感なく演奏できることが分かりました。さらに曲目を少ない人数でも演奏できる曲に変更し、奏者は可能な限り本番でもマスクを着用。空気清浄・除菌機の導入にてホール内の換気の強化の徹底などを図っていくとしています。

<参考>

苦境のオーケストラ 国内の公演1000超が中止や延期 新型コロナ

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200606/k10012460971000.html>

関西フィルハーモニー管弦楽団 <https://kansaiphil.jp/>

コロナ禍で苦しむ“スナック業界”を救済 自宅で楽しむ「オンラインスナック横丁」オープン

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域の人たちにとって「社交場」であるスナックが厳しい状況に追い込まれています。

約500軒のスナックを巡り「スナ女」として活動する五十嵐真由子（Make. 合同会社代表）さんは、全国のスナックとのつながりを活かし、実店舗を持つ全国約10軒のスナックを集めた「オンラインスナック横丁」を立ち上げました。

「オンラインスナック横丁」は、北海道から宮崎まで全国に実店舗を持つスナックのママと利用者をオンラインでつなぐサービス。全国各地のママとオンライン上での飲み会を楽しめます。

利用者は、WEB上に掲載されている様々なスナックから好みの店舗を選び、希望日時の入場チケットを購入するだけ。料金だけでなく、ママが飲むドリンクを支払う場合も、クレジットカードで決済できる仕組みです。

主催の五十嵐さんは「コロナ終息時には、オンラインスナック横丁をきっかけとして、お客様が直接スナックを訪れる。そんな未来の架け橋となることが、オンラインスナック横丁の一番の価値であると考えます」としています。

<参考>

苦境の「スナック」ママたちが飛び込んだ新境地「オンラインスナック横丁」は定着するか

https://news.infoseek.co.jp/article/toyokeizai_20200517_350701/

オンラインスナック横丁 <https://snackyokocho.com/>

英の介護施設 家族との面会は青空の下「ドライブスルー方式」で

新しい生活様式への手探りは、日本と同様に海外でも続いています。
イギリスでも高齢者向けの介護施設では、感染拡大防止の観点から面会自粛が求められています。
そこで、家族と入所者とのつながりと感染防止を両立すべく、イギリス南西部デボン州にある介護施設が取り入れたのは、ドライブスルー方式の面会でした。

青空のもと緑の庭に繰り出したおじいちゃんおばあちゃん達。多くは車椅子に乗っていて、そこに家族の乗った車が近付きます。
家族はフェイスシールド着用、車から降りることは出来ませんが、こころの距離はぐっと縮まり、2か月ぶりの再会を喜び合います。

また、別の施設ではドライブスルーディスコを開いています。面会の家族が乗った50台の車が集まり、入所者たちと一緒に音楽を楽しんだということです。

<参考>

英の介護施設 「ドライブスルー方式」で家族と面会

<https://headlines.yahoo.co.jp/videonews/ann?a=20200528-00000009-ann-int>

介護施設でガラス越しの面会 「顔を合わせ安心した」

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、多くの病院や高齢者福祉施設などでの入所者と家族の面会制限は今もなお続いており、約2カ月にわたり原則禁じている施設もあるといます。

そうした中で施設側も、制限を続けながら安全に配慮し、入所者と家族のつながりを保つための工夫を重ねています。

スマホやタブレットのテレビ電話機能やSNSのビデオ通話での面会が増えつつあるといますが、手軽に利用でき便利という反面、操作が苦手・分からないという家族も多いといます。

そこで、家族が屋外からガラス越しに入居者と顔を合わせる面会方式が注目を集めており、会話は携帯電話を通じて行います。

面会した家族は「久しぶりに間近に顔を合わせることができ安心した、本当にうれしかった」と話します。

<参考>

感染防止で「ガラス越しに電話で面会」高齢者施設の取り組み

<https://www.fnn.jp/articles/-/37117>

名前を何度も呼び続ける夫…認知症の妻と“ガラス越しの再会”
面会中止の施設で模索する新しい“寄り添い”

<https://www.fnn.jp/articles/-/46902>

県と高齢者施設が連携 発熱状況報告システムを整備 クラスターの発生を防ぐ

群馬県では陽性確認の遅れにより、高齢者施設で新型コロナウイルスの大規模クラスター（感染者集団）が発生した教訓を踏まえ、県内の高齢者・障害者施設などの利用者や職員らに、発熱状況を毎日報告してもらうシステムを県内の全1528施設に整備しました。

感染の発生を早期に発見し、クラスターを防止する狙いがあります。対象は特別養護老人ホームや有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、障害者支援施設など。

施設側で検温し、毎日正午までにインターネット上に県から用意された入力フォームに37.5度以上の発熱や、せきなどの呼吸器症状のある人の数を入力し、報告。

それに基づき、県と地域の保健所が聞き取りを実施。必要に応じて医療機関へつなげ、原因がはっきりしない発熱者が3人以上いた場合は医師の判断で速やかにPCR検査を行います。

山本知事は「感染で重篤化しやすい高齢者らの施設はコロナ対策の鍵だ。兆候を一刻も早くつかむことが重要だ」とシステムの意義を強調しました。

<参考>

群馬県、クラスター再発防止へ発熱報告システム整備 全ての高齢者施設など網羅

<https://news.yahoo.co.jp/articles/94a41b0807f0e40faf70a5547dbe8bc89bf0d78e>

群馬県 公式ホームページ <https://www.pref.gunma.jp/>

24時間買い物代行サービス「PickGo 買い物代行」開始

運びたい人と届けたい人をマッチングする「PickGo（ピックゴー）」というサービスを展開している、物流企業の株式会社Cbcloud（東京都千代田区）が、個人向けの24時間買い物代行サービス「PickGo 買い物代行」を始めました。対象地域は東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知県、大阪府、福岡県の7都市。

AI（人工知能）を使った画像検索機能が搭載された専用アプリを通じて、買い物する場所と商品を入力すると、マッチングされた近隣の配送可能なプロのドライバー（PickGoパートナー）が、24時間いつでも店舗に出向いて商品を購入し宅配してくれる仕組みです。代行料は550円（税込）から、支払いはクレジットカード払いのみ。

スーパー・コンビニ、ドラッグストアだけでなく、ホームセンターや家電量販店や飲食店のテイクアウトなど、ジャンルを問わず1度の注文で最大3店舗まで買い物先を指定でき、日用品や食品、家具や家電の買い物など依頼が可能。まさに「物流版のウーバー」といえるサービスです。

外出自粛や体調不良などで外出自体が難しい人だけでなく、「医療従事者など、夜通しで働かないといけない方にも必要な商品を届けられる」と松本隆一CEO（最高経営責任者）は語ります。

<参考>

新型コロナで「24時間買い物代行」 物流会社が7都府県で開始

<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/watch/00013/00977/>

PickGo <https://pickgo.town/>

予約制の「貸し切り本屋」でゆったりと本選びの時間を

「今ほど切実に本と音楽が必要なときはありません。一日をただきれいに生きられる日が早く来ることを願いながら、もうすぐ35年になるこの場所をまだ好きでいて頂けたらそれは幸甚です」と語る書店、「フリッツ・アートセンター」(群馬県前橋市)の予約・貸切制の取り組みが話題を集めています。

マスク着用と手指消毒の上、貸し切り時間は1組当たり(1人~5人まで)30分程度。人の入れ替えごとに消毒や換気を行います。絵本や書籍の品ぞろえが豊富な店内では、ゆったりとした時間を過ごすことが出来、店内で開催中の展覧会も楽しめます。

もともと行っていた配達業務も本格化させ、市内を中心に県内の配達に対応。小学校の再開に合わせて6月1日から通常営業を再開する予定ですが、要望に応じて貸し切りの時間を設けていくということです。

<参考>

3密を気にせず本選び 前橋で予約制の「貸し切り本屋」が話題に

<https://news.yahoo.co.jp/articles/80e3fd275365e7a3204352951be594401591ded2>

フリッツ・アートセンター <http://theplace1985.com/>

「後日葬儀」「オンライン葬儀」変化していく最期のお別れの形 柔軟な弔い方・偲び方を模索

人の生だけでなく、死後をも変えてしまう新型コロナウイルス感染症。その影響で、お葬式にも大きな変化が訪れており、感染拡大防止のために以下のようなお別れの形が注目されているといえます。

- ✓ 「家族葬（1日葬）」
家族や親族、親しい友人を中心に少人数・小規模で行う葬儀
（お通夜を行わず、告別式と火葬を1日で行う家族葬）
- ✓ 「後日葬儀」
先に火葬だけを行い、新型コロナウイルスの感染拡大が収束した後に、
通夜や告別式、お別れ会を改めて行う葬儀
- ✓ 「オンライン葬儀・インターネット参列」
葬儀の様子をインターネット上にアップして、参列者がスマホやPCから
アプリ経由で、自宅などそれぞれ離れた場所から参列する葬儀
（香典の送金や供花もネット上でクレジット決済できるサービスも）

<参考>

新型コロナで、葬儀もライブ配信 「離れていてもお別れしたい」

https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5e8d169fc5b62459a9309663

コロナ感染拡大により葬儀はようになる？今注目の葬儀方法も紹介！

<https://minnshu.com/news/2128>

コロナの影響で「葬儀」はどのように変わるのか <https://toyokeizai.net/articles/-/344663>

